

組み合わせ基準

※基本条件として、全ての個人戦の組み合わせを第1シードから第4シードまでは所属チームにかかわらずランキング通りに決定しシードする、ランキングが同等の場合を除き、同チームの場合も第3シードと第4シードも入れ替えない。(上位大会に繋がるABC予選・全国小学生予選にのみ適用する)
その他の大会は2分の1、4分の1を優先する。

【シングルス選手権大会】

1. 可能な限り第8シードまでを決定する。(シードされない選手は自動抽選とする)
2. 前年度の結果をもとに、シードする。この際、同一チームの選手が均等1/2、1/4、1/8のブロックになるよう考慮する。ただし、同チームで同ランクの場合はチームランキング順にシードする。
3. シードの優先順位は以下のとおりとする。優劣がつかない場合は抽選とする。ただし、8シードを越える場合は以下の場合でもシードしない。
 - ① ABC大会東京都予選ベスト4(但しU13等の予選免除選手がいる場合はそれを最上位とする)
 - ② 前年度シングルス大会ベスト4
 - ③ ABC大会東京都予選ベスト8
 - ④ 前年度シングルス大会ベスト8
 - ⑤ 全国大会東京都予選シングルスベスト4
 - ⑥ 上記基準により8シードが決まらない場合、強化メンバーを原則シードする。
 - ⑦ 上記以外で、特に個々を検討し優れた実績を持つと認められた選手は上記の選手と同等のシードを与えることもある。(他道府県で個人戦シングルス、ブロック大会出場以上など実績のある選手は、東京都シード選手の実績と比較してシードを決める)
3. シード下については各チームのランキング下位を入れるが、出場数の少ないチームは十分考慮する。

組み合わせ基準

【ダブルス選手権大会】

1. 可能な限り第8シードまでを決定する。シードされない選手は自動抽選で組み合わせを決定する。
2. 前年度の結果をもとに、別表のとおり持ち点を算出する。

前大会成績	個人ポイント
1位	5
2位	4
ベスト4	3
ベスト8	2
ベスト16	1

(組替えなしの例)

前大会ベスト4 → $3 + 3 = 6$ 点

(組替えありの例)

前大会2位・ベスト8 → $4 + 2 = 6$ 点

3. 持ち点の高い順にシードを決定する。この際、同一チームの選手が均等 1/2、1/4、1/8 のブロックになるよう考慮する。
4. 同ランクの場合は、「組替えのないペア」を優先し、さらに、成績が上位のペアを優先する。
「組替えペア」で同点の場合はランキングの高い選手がいるペアを優先とする。さらに同一チームで同点の場合は、チームランキングの順にシードを決定する。
5. シードの優先順位は以下のとおりとする。優劣がつかない場合は抽選とする。
 - ① 前年度ダブルス大会ベスト4
 - ② 前年度全国大会個人出場またはシングルス大会ベスト8以上の含まれるペア
 - ③ 全国大会東京都予選ベスト4
 - ④ 前年度ダブルス大会ベスト8
 - ⑤ 前年度ダブルス大会ベスト16
6. 上記以外で、特に個々を検討し優れた実績を持つと認められた選手は上記の選手と同等のシードを与えることもある。上記基準により8シードが決まらない場合、強化メンバーを原則シードする。
7. シード下については各チームのランキング下位を入れるが、出場数の少ないチームは十分考慮する。
8. 2. における持ち点について上学年、低学年での昨年度実績についてはポイントを認めない。

組み合わせ基準

【ABC大会予選】

1. 可能な限り第16シードまで決定する。シードされない選手はチームランキング順に抽選で組み合わせを決定する。その際、各チームの同ランキングを抽選とする。なお、シードで抜けた場合はランキングを繰り上げる。
2. 前年度各種大会の結果をもとに、シードする。この際、同一チームの場合も1～4シードはランク順にシードし入替は行わない。5シード以下は選手が均等1/4、1/8のブロックになるよう考慮する。その結果、シード順位が入れ替わることがある。
3. シードの優先順位は以下のとおりとする。優劣がつかない場合は抽選とする。ただし、16シードを越える場合は以下の場合でもシードしない。
 - ① 前年度シングルス大会上級生ベスト4
 - ② 個人戦シングルス、ブロック大会以上(上級生)
その場合、全国大会出場順位、ブロック大会出場順位を考慮する。
 - ③ 前年度ABC大会出場(上級生)
 - ④ 前年度シングルス大会下級生ベスト4
 - ⑤ 個人戦シングルス、ブロック大会出場以上(下級生)
 - ⑥ ①④の順でベスト8
 - ⑦ 個人戦ダブルス、全国大会出場、ブロック大会出場(上級生)
 - ⑧ 上記以外で、特に個々を検討し優れた実績を持つと認められた選手は上記の選手と同等のシードを与えることもある。(他道府県で個人戦シングルス、ブロック大会出場以上など実績のある選手は、東京都シード選手の実績と比較してシードを決める)
第16シードまで埋まっていない場合、シードされなかった強化選手を原則としてシードする。
 - ⑨ シード下については原則として各チームのランキング下位を入れる。出場数の少ないチームは十分考慮するが、総出場数の関係等で上位でも入ることがある。

組み合わせ基準

【全国小学生都予選】

(シングルス)

1. 可能な限り第8シードまで決定する。シードされない選手は自動抽選で組み合わせを決定する。
2. 前年度の結果をもとに、シードする。この際、同一チームの場合も1～4シードはランク順にシードし入替は行わない。5シード以下は同一チームの選手が均等1/2、1/4、1/8のブロックになるよう考慮する。
3. シードの優先順位は以下のとおりとする。優劣がつかない場合は抽選とする。
 - ① ABC大会東京都予選ベスト4(但しU13等の予選免除選手がいる場合はそれを最上位とする)
 - ② 前年度シングルス大会ベスト4
 - ③ ABC大会東京都予選ベスト8
 - ④ 前年度シングルス大会ベスト8
 - ⑤ 個人戦ダブルス全国大会出場
 - ⑥ 前年度同大会ベスト4
 - ⑦ 前年度同大会ベスト8
 - ⑧ 上記以外で、特に個々を検討し優れた実績を持つと認められた選手は上記の選手と同等のシードを与えることもある。(他道府県で個人戦シングルス、ブロック大会出場以上など実績のある選手は、東京都シード選手の実績と比較してシードを決める)
第8シードまで埋まっていない場合、シードされなかった強化選手を原則としてシードする。
 - ⑨ シード下については各チームのランキング下位を入れるが、出場数の少ないチームは十分考慮する。

組み合わせ基準

【全国小学生都予選】

【ダブルス】

1. 可能な限りシードを決定する。シードされない選手は自動抽選で組み合わせを決定する。
2. 前年度の結果をもとに、別表のとおり持ち点を算出する。

前大会成績	個人ポイント
1位	5
2位	4
ベスト4	3
ベスト8	2
ベスト16	1

(シングルスも同様)

(組替えなしの例)

前大会ベスト4 → $3 + 3 = 6$ 点

(組替えありの例)

前大会2位・ベスト8 → $4 + 2 = 6$ 点

4. 持ち点の高い順にシードを決定する。この際、同一チームの場合も1～4シードはランク順にシードし入替は行わない。5シード以下は同一チームの選手が均等1/2、1/4、1/8のブロックになるよう考慮する。
5. 同ランクの場合は、「組替えのないペア」を優先し、さらに、さらに成績が上位のペアを優先する。「組替えペア」で同点の場合はランキングの高い選手がいるペアを優先とする。さらに同一チームで同点の場合は、チームランキングの順にシードを決定する。
6. シードの優先順位は以下のとおりとする。優劣がつかない場合は抽選とする。
 - ① 前年度ダブルス大会ベスト4
 - ② 前年度ダブルス大会ベスト8
 - ③ 前年度同大会ベスト4
 - ④ 前年度同大会ベスト8
 - ⑤ ①～④で片方にポイントのない者との組み替え
 - ⑥ 上記以外で、特に個々を検討し優れた実績を持つと認められた選手は上記の選手と同等のシードを与えることもある。第8シードまで埋まっていない場合、シードされなかった強化選手を原則としてシードする。
 - ⑦ シード下については各チームのランキング下位を入れるが、出場数の少ないチームは十分考慮する。
 - ⑧ 2.における持ち点について上学年、低学年での昨年度実績についてはポイントを認めない。

組み合わせ基準

【若葉予選】

1. 出場チーム数により組合せ方式を決定する。
2. 男女ともに参加チームが5チーム以下の場合はリーグ戦で総当たりとする。
3. 6チームの場合は3×3のリーグ戦後に上位2チームによるトーナメント戦を行う。その結果、決勝戦が予選リーグで対戦している場合は、決勝戦は行わず予選リーグの結果で順位を決める。
4. 7チーム以上の場合はトーナメント戦として2位決定戦を行う。
5. シード順は前年の予選の結果を基に可能な限りシードする、前年出場していないチームは抽選とする。

組み合わせ基準

【クラブ対抗】

1. 代表、交流ともリーグ戦後にトーナメント戦を行う。リーグは3チーム以上4チーム以下とする。参加チームが5チーム以下の場合は総当りのリーグ戦とする。
2. シード順は前年の結果を基に可能な限りシードする、前年出場していないチームは抽選とする。

組み合わせ基準

【チャレンジトーナメント】

1. 本大会は、全種目自動抽選とする。